

2012/6/6

MiTA

Vol. **45**

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association

特 集

水島港開港50周年記念 ～写真でたどる水島港の50年～

Contents

- ・水島港開港50周年写真で見る50年史
- ・玉島フォーラムシンポジウム報告
- ・水島港の航行規制の一部緩和
- ・水島港のデータ
- ・神戸税関水島税関支署のご紹介
- ・水島港セミナー報告

水島港開港五十周年

50年の軌跡

水島港は今年で開港50周年(関税法を迎えました)。そこで、過去と現在の水島港について写真を交えて紹介します。

過去と現在の水島港



現在の水島港

水島港は開港から今年で50年。しかし、その干拓は約40年前から始まっています。高梁川河口部一帯は遠浅の海域のため、天正13年(1585年)頃から干拓されており、河川堤防の延長と農地の造成が行われました。第2次大戦前には既に1万数千坪の土地が形成されていたとのこと。昭和16年には高梁川隣川敷沖の海面約364万㎡を埋め立てて三菱工業の航空機製作所を建設することになり、岡山県特設臨海工業地帯造成事務所を設けて工場専用港湾として建設され始め、その後様々な企業の立地や、港湾機能強化へ向けての整備が着々と進み、西日本の港湾取扱貨物量を誇るまでに成長しました。今後の岡山県産業の発展のため、さらなる企業誘致・港湾整備を進めています。

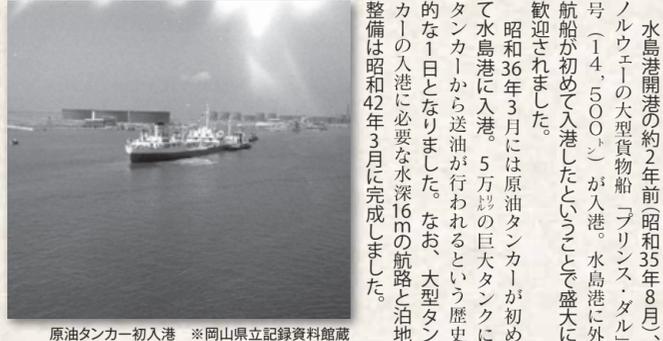
水島港国際ナショナルトレード協議会



水島港国際ナショナルトレード協議会設立総会

平成9年3月、水島港とともに歩んできた「水島港湾振興会」(昭和35年10月設立)を発展的に解消し、定期路線の拡充などの港湾サービスの充実や、外内貿コンテナターミナルとして大型岸壁の整備を行うような港湾機能強化など、水島港の総合的プロモーションを行うため、「水島港国際ナショナルトレード協議会」が設立されました。

水島港への入港船舶



原油タンカー初入港 ※岡山県立記録資料館蔵

水島港開港の約2年前昭和35年8月、ノルウェーの大型貨物船「プリンス・ダル」号(14,500ト)が入港。水島港に外航船が初めて入港したということで盛大に歓迎されました。

その後、水島港は順調に外航船の入港数を伸ばし、昭和37年4月に大型外航船の100隻目が入港しました。100隻目の入港を記念し、水島港湾振興会は盛大に式典を開催しました。



水島港大型外航船100隻入港式典 ※岡山県立記録資料館蔵

平成7年9月、水島・釜山間に定期コンテナ航路を開設。水島港と韓国釜山港を結ぶ、県下で初めての国際定期コンテナ航路が開設されました。その後も、外貿国際定期航路を増設し、現在では11航路、週16便が運航されています。



水島港-釜山港間 定期コンテナ航路開設記念式典

平成10年3月には外国貿易船の6万隻目が入港し、それを記念した式典が開催されました。6万隻目となったのは、パナマ船籍「フエックス・ダイヤモンド」号。アメリカのサンフランシスコ港を出港して水島港に入港しました。その後も、着々とその数を伸ばしています。



水島港外国貿易船6万隻入港記念式典

水島港外国貿易船6万隻入港記念式典テープカット



玉島ハーバーアイランドは水島港の背後圏の発展に伴う物流需要の増大や、コンテナ化の進展などの物流形態の変化に対応できる物流機能の一層の強化・充実、地域産業の高度化・活性化の促進、市民が海に親しみながら憩い集える、にぎわいと潤いのある空間形成などを目的として、昭和62年から整備が進められていました。その整備に伴い、水島港玉島地区の本土と人工島を結ぶ唯一の橋梁として「玉島ハーバーブリッジ」の工事が平成5年に着手され、平成8年10月に完成しました。現在玉島ハーバーアイランド850坪のうち、造成済みの区画では、製造業、リサイクル業などの企業が進出しており、最近では昨年3月に日本エアフォージ(株)の立地が正式に決まりました。そしてさらに、南側に46畝の土地を埋め立てて、緑地や工場用地などとして有効に活用しようとするなど、水島港のますますの発展を目指して整備が進められています。



平成9年9月の玉島ハーバーアイランド

玉島ハーバーアイランド

水島港開港50年のあゆみ(抜粋)

昭和35年	3月 10日	旧玉島港を水島港に併合
	6月 9日	港湾法の「重要港湾」に指定され、特定港湾施設整備特別措置法の適用港となる
	8月	外航船第1船「プリンス・ダル」号が入港
	10月 6日	水島港湾振興会発足(MITAの前身)
昭和37年	4月 1日	関税法の「開港」に指定される
昭和49年	4月 12日	港則法の港域を拡張し、「特定港」に指定される
昭和57年	4月 1日	「開港」満20年を迎える(8月5日記念式典開催)
平成 4年	4月 1日	「開港」満30年を迎える(7月30日記念式典開催)
平成 7年	9月 13日	玉島地区外貿埠頭~釜山港間国際定期コンテナ航路開設(同日開設記念式典開催)
平成 8年	9月	玉島ハーバーブリッジが完成(10月4日完成式典開催)
	10月 15日	玉島地区が港則法の「特定港」、関税法の「開港」に指定される(10月8日開港記念式典開催)
平成 9年	3月 25日	水島港湾振興会を発展的に解消し、「水島港国際ナショナルトレード協議会」を設立
平成10年	3月 23日	水島港外国貿易船入港6万隻達成(同日記念式典開催)
平成15年	4月 1日	港湾法の「特定重要港湾」に指定される
	11月 28日	構造改革特別区域法による水島港国際物流・産業特区に認定される
平成20年		新高梁川橋梁、玉島ハーバーアイランド水深12.0m岸壁の事業化 玉島ハーバーアイランド沖出し工事46haの事業化
平成22年		玉島西航路拡幅に着手
平成23年	5月	「国際バルク戦略港湾」に選定される
	12月	「地域活性化総合特区」に指定される
平成24年	4月 1日	「開港」満50年を迎える

水島港開港50周年記念事業

「ハーバーアイランド玉島フォーラムシンポジウム」開催!!

平成24年4月7日、4月1日にオープンしたばかりの「玉島市民交流センター」において、玉島商工会議所ハーバーアイランド玉島フォーラム主催のシンポジウムが280人も多くの方の参加により盛大に開催された。

シンポジウムでは、まず開会にあたり大熊龍彦玉島商工会議所会頭が、本年は水島港が開港して50年、ハーバーアイランドが着工して25年という節目であり、今後市民と共に発展して行くことを願っていること挨拶された。

そして、過去から現れた良寛様に導かれ「玉島の姿、むかし、いま、これから」と題したビデオ上映等があり、会場は和やかな雰囲気となった。

その後、講演とパネルディスカッションが行われ、講演では岡山大学大学院社会文化科学研究科の津守貴之准教授が、「ハーバーアイランドの未来は？」と題して港湾の向かうべき方向等について話され、またパネルディスカッションでは、伊東香織倉敷市長(MITA副会長)を始め、佐藤光司日本エアフォージ(株)代表取締役社長、中谷庄吾中興運(株)代表取締役社長(同理事)、板野忠司水島港国際物流セ



ンター代表取締役社長(同理事)、大熊龍彦会頭による活発な意見発表があった。

最後に、閉会にあたり玉島商工会議所松本一彦副会頭が、玉島、倉敷市、岡山県が、今後経済、物流、人の交流で発展していくことを願っていますと締めくくられた。

なお、フォーラムを主催された玉島商工会議所は、MITA会員として平素からご協力いただいております、また当フォーラムでは、MITAが共催を、岡山県及び倉敷市が後援をしている。

現在の玉島ハーバーアイランド



玉島ハーバーブリッジ完成式典

プリンス・ダル号 ※岡山県立記録資料館蔵



水島港の航行規制の一部緩和

7月1日から水島港における新たな港内交通管制が導入されます！

平成24年7月1日から、水島港内航路において、AIS（船舶自動識別装置）を活用した新たに港内交通管制が導入されます。

平成24年7月1日から、水島港内航路において、AIS（船舶自動識別装置）を活用した新たに港内交通管制が導入されます。

①航路内における管制船と航行する場合、管制対象船（70m以上200m未満の船舶）の行き会いを一律に制限していましたが、新たな港内交通管制では、AIS情報を活用するようになり、一定の条件のもと、港長が認め指しをした管制対象船は、入港信号（I）時であっても、行き先が下津井瀬戸方面または検査地方面である場合には、港内航路を通航することができま

②管制船が水島航路に入港する前に管制対象船を通航させる管制（入港前（I）時）は、港長が認め指しをした管制対象船は、入港信号（I）時であっても、行き先が下津井瀬戸方面または検査地方面である場合には、港内航路を通航することができま

今回の変更は、水島港国際

※「一定の条件」等については、水島海上保安部航行安全課（電話086-444-2967）までご確認ください。

これまで、管制船（200m以上の船舶）が備瀬瀬戸東

水島港における新たな港内交通管制の導入について

平成24年7月1日から、水島港内航路において、次のとおり、AIS（船舶自動識別装置）を活用した新たな港内交通管制が導入されます。

- 航路内における管制船と管制対象船の行き会い管制（一定の条件のもと、港長が認め指しをした管制対象船は、入港信号（I）時であっても、港内航路を通航することが可能となります）
- 管制船が水島航路に入港する前に管制対象船を通航させる管制（入港前（I）時）は、港長が認め指しをした管制対象船は、入港信号（I）時であっても、行き先が下津井瀬戸方面または検査地方面である場合には、港内航路を通航することが可能となります。

【管制船からの事前通報】

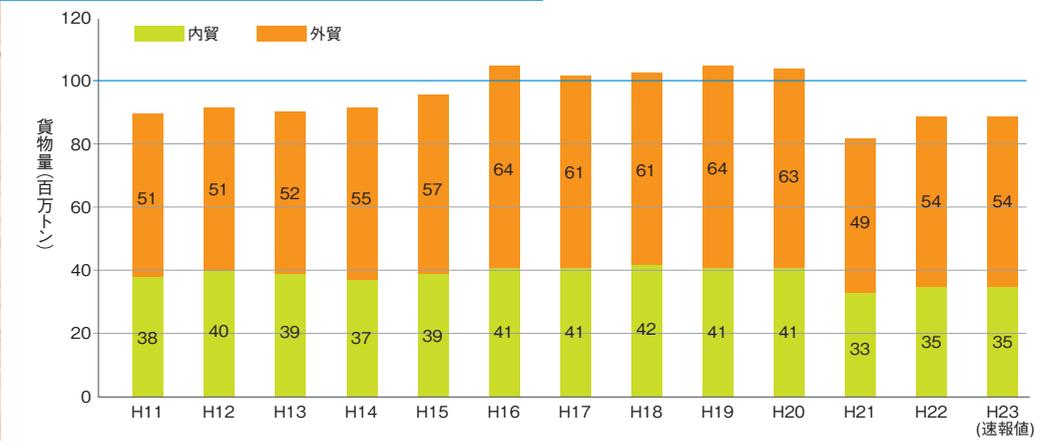
新たな港内交通管制の導入に伴って、船舶は36度の規定に基づき、港内航路を航行して入港または出港しようとする管制対象船は、入港前（I）時までに水島港長（備瀬瀬戸海上交通センター）に事前通報が必要となります。

ただし、海上交通警備室22条の規定による強制（目視監視）から水島港航路に関する検査を受けず（備瀬瀬戸海上交通センター検査）あての船舶に於ては、当該船舶が申請し、または検査しようとする水島港の経路監視を通知した場合は、この事前通報は必要ありません。

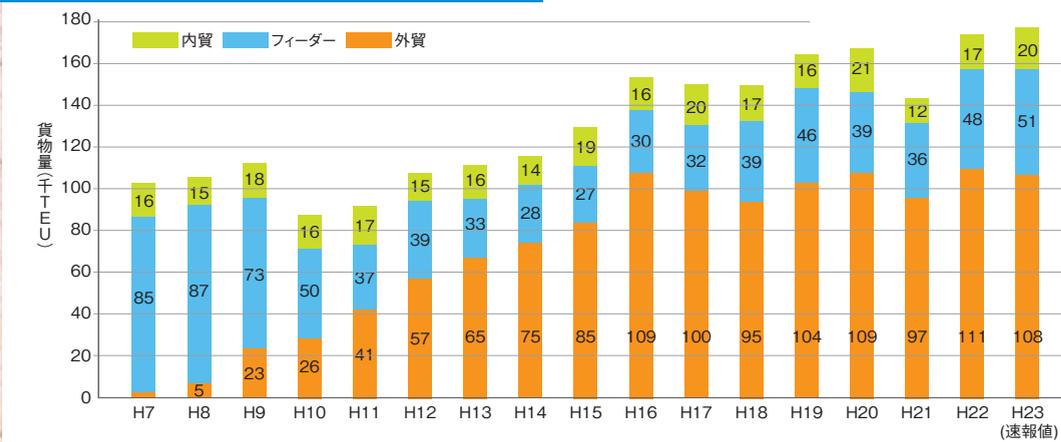
水島港内航路監視地図

【パンフレット】

●水島港総取扱貨物量推移



●水島港コンテナ取扱貨物量推移



外貨コンテナ取扱貨物量全国ランキング (H23速報)

順位	港名	千TEU
1位	東京	4,144
2位	横浜	2,803
3位	名古屋	2,472
4位	大阪	2,173
5位	神戸	2,097
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
13位	水島	108

水島港のデータ

(各データの出典: 岡山県土木部港湾課調べ)

神戸税関水島税関支署のご紹介

神戸税関水島税関支署は、水島港湾合同庁舎2号館に、財務省の出先機関として設置されています。昭和36年6月に宇野税関支署水島分室として産声を上げ、昭和47年5月に水島税関支署となりました。また、平成18年3月には、玉島ハーバーアイランド内に、水島コンテナ検査センターが設置されました。

「神戸税関百年史」によると、明治32年に、玉島税関監視署が設置され、昭和18年に閉鎖と記載されています。監視署があった場所(玉島中央町)には、玉島文化協会と玉島観光ガイド協会により、「岡山県税関発祥の地」の石碑が建立されています。管轄区域は、岡山県のはほぼ西半分である5市(倉敷市、総社市、高梁市、新見市、浅口市)4郡(都窪郡、加賀郡、小田郡、浅口郡)となっています。

税関は「安全・安心な社会の確保」「適正かつ公平な関

税等の賦課・徴収」「貿易の円滑化」の3つを基本的な使命として、輸出入貨物の通関や覚せい剤等の不正薬物・けん銃・コピー商品などを水際で阻止し、国内に持ち込ませないように取締りを行い、秩序ある貿易の発展に努めています。

水島港の平成23年の貿易額は、輸出が約1兆239億円(全国12位)、輸入は約1兆6357億円(同12位)。輸出入総額は全国で11位の位置に付けています。外国貿易船入港隻数は、3913隻(同7位)となっています。

水島港は、昭和37年に開港(外国との貨物の輸出入や外国貿易船の入出港が出来る港)指定されてから、今年には開港50周年の節目を迎えました。8月には、水島港開港50周年記念行事として、記念式典や「港・貿易・産業展(仮称)」が計画されています。水島港の更なる活性化に

少しでも寄与できるよう、MITA会員の皆様のご協力を頂きながら努力をして参りたいと考えております。



【税関旗】
青は「海と空」、白は「陸」で、接点に税関があることを表しています。(明治25年制定)



【税関のロゴマーク】
航空機、船、ゲート(門)を組合せ、「関」を表しています。門の中の秤は公平を、鍵は保全を意味し、税関の役割りを図で表現するとともに、3つの桜が税関の使命を示しています。(平成19年制定)



税関キャラクター カスタム君

水島港セミナーを開催!!

平成24年3月22日、東京千代田区霞ヶ関の東海大学校友会館において水島港セミナーを開催しました。

セミナーには116の団体・企業から250名を超える多くの方々の参加をいただきました。

県からは新高梁川橋梁や水深12m耐震強化岸壁の整備進捗状況及び玉島ハーバーアイランドの土地分譲について説明し、また今回は民間の立場からも、水島港のコンテナ貨物について中谷水島港運協会副



【東京セミナー】

Cover Photo

今号の表紙

今号の特集では、水島港の50年を写真により振り返っています。表紙の写真は昭和59年4月の航空写真です。当時は水島港E地区も造成中であり、今は見慣れている玉島ハーバーアイランドもまだ姿を見せていません。